

題字 濱名一雄

印刷所 森田印刷

国体部長

町田幸男



この様に国体山岳競技は従来の

あった。その後山岳競技は得点種山登りをベースにと言った感覚よく目となり、縦走、踏査、登攀の三りは、むしろ山間部をフィールド種目に別けられ現在に至っている。としたスピード競技と言ったイメー更に、近年では、より公平で明瞭を強く感じられる様になって来確な競技への確立に向け実施基準

の見直しが行なわれている。基準 この傾向こそが、国体山岳競技の改定は第一次ステップ、第二次ス **が** 真の競技として確立されつつある。ステップの二段階に分けられ現在進行の証明ではないだろうか。

められている。第一次ステップは、たしかに山岳競技と言うからには、去年の愛知国体にて概ね終了した。はそれなりの独自性が欲しいであろう。しかし国体競技として考えるのであれば、だれもが参加できる縦走に関しては、装備審査、天気図審査が廃止され、特区間ゴールまでの時間のみで競われる様になった。踏査では設問が廃止され定容でなければならないと思う。

確認にウェイトをおいた配点となった。登攀では時間点に加え、完登パーティーにのみ付加された技術点を到達高度により加点される様考慮されている。

山岳と言うと危険で特種なスポーツといったイメージが未だ強い中よりメジャーなスポーツとして啓蒙する為にも、特種な内容ではなく、より簡素で明瞭公平な競技に

現在平成十年の神奈川県国体に向け第二次ステップとしての更なる改定が進められている。中でも重点項目と言えるのが登攀競技である。完全な人工ボードでのオンサ、発展性など望めない。山岳連盟の

これは何と今の競技体制が彼らに有利で山岳関係者に不利な為ではない。根本的な考え方に違いがある。山岳だけでなく国体離れは他の判員や監督コーチの育成に注力し、この点についてはスポーツクライミング部には参加者はしない。個人とにかくやる気あふれる委員会とエントリーのレースには参加者はしたい。

と思う。ランナーたちは競技慣れ増加しているらしい。山岳競技に
れしており、何よりも勝つ為のト 増加しているらしい。山岳競技に
レーニングを普段から自主的に行つ して見ても富士登山マラソンや長
谷川杯、そして我が山田昇杯と参 従来の様に各山岳会を当り、
加者に減少傾向は見られない。こ 門の会を作たらどうかという意
であらう。しかし、本人にやる気 見が前々から上がつている。現在
の体制では岳連登録者でなければ

元々、山を楽しむたてに山岳会に入会し、迅速へ加盟している人、自己の実力を試し新たな目標にチャレンジし、出場で勝つことにチャレンジし、同様な考えを持つて来いでは賞など望めない事は人間にいきなり国体へ出場して勝つと人種と交流することは好まれて味を持った人材を集める必要があるからである。私も選手として二度、いる様である。しかし、それが組となると可能性が高いのはや

元々、山を楽しむたてに山岳会に入会し、迅速へ加盟している人、自己の実力を試し新たな目標にチャレンジし、出場で勝つことにチャレンジし、同様な考えを持つて来いでは賞など望めない事は人間にいきなり国体へ出場して勝つと人種と交流することは好まれて味を持った人材を集める必要があるからである。私も選手として二度、いる様である。しかし、それが組となると可能性が高いのはや

又、近年では監督として三度出場しているが当初、特に選手（少男）は別といった様子がうかがえる。の時代は国体に出場できると言っただけで何らかの希望を抱いていた記憶がある。しかし、回を重ねる

はり高校生ではないだろうか。今後増加するであろうスポーツライミィング愛好者の底辺を拡大す為にも今後必要ではないだろうか。

去年私も高体連のリード研修会へ参加させていただき、生徒の声を聞いてみたが競技、特にボードへの関心を持っている人が多く見

國体委員長と言った大役を仰せ

るにつれ自分の行いたい山も行けず、強化訓練の為に時間を割かれ、更に「お国の為」といったイメー
ジの国体が苦痛であつた様に思う。
現在でも苦痛と思うのは本音と言
う。 如何に国体離れを阻止し、多数
受けられた。又、山岳会へは入り
つかり一年が過ぎようとしており
ます。国体では勝利を持続するこ
とが容易ではないと思います。し
かし、どうせやるなら息の長いチ
ーム作りを、少年成年フルエン
トリー、高体連との連携を密にし、
標準改定であり、選手の為を思
つたも、施策の一つが基
てみたいとの声も多少は出ている。
各岳連にしても、現在最大の問題
選手を集めるかが日山協にしても
多くのが、成年として再出場し

えよう。

しかし、以前理事会でも討論した通り、我々は日体協の加盟団体であり、国体への出場は不可欠な立場にあることをこでもう一度

内容へと改善されつつあることは、確かである。開催地や行政問題も、又、卒業者で国体経験者にも

多々あるが、方向性については我々積極的に声をかけており、二名は

も同調すべきと考える。又機会あ

る。又、卒業者で国体経験者にも

どがトレーニングに加わっている。

おります。

委員会も手狭であります。皆様の助

場に意見を述べることも必要

新たな試みとしては、今年度より

言は固より、委員会への参加も合

て総合入賞をまずは目標と考え

認識したい。どうせ出場しなければならぬのなら楽しく前向きに取り組みたいものである。なぜ人は働くのだろうか。なぜ山織力であると私は考える。選手をもさまざまな改善にトライし、底たく思います。

と書いておられる。泉子選会場を高校総体と合わせ、最後に国体は加盟団体全員の間に合わせ、御願ひ致します。

笠原伊勢雄さん 急逝される



僅場所となった武蔵山周辺のゴミの清掃登山については、岳連加盟団体の協力を得て実施しましたが、この時の笠原さんの活躍が思いだされます。

また、日山協の自然保護委員総会にも五十九年度から毎年出席し、各県から提出されたテーマに対して積極的に討議検討に参加しました。

さらに、五十八年に開催された「あかぎ国体」では、宿泊部の副部長として大井部長を補佐して、毎日九〇〇食の昼食を手配、配宿を担当し、その功績は大きいものがありました。四月十五日開催された「あかぎ国体」十周年記念祝賀会に、宿泊部の正副部長が出席

出来ず非常に寂しく感じたのは私だけではないかと思えます。

平成四年十月水上町で日山協の自然保護委員総会が群馬岳連の主催で開催されました。笠原さんは視察場所の現地調査、総会の準備等を担当し、二日間の総会を盛会のうちに終了させたのも笠原さんの骨身を惜しまない準備の結果だと思えます。

笠原さんとの最近の山行や、散策をあげると唐沢鉱泉から八ヶ岳とひっきりなしに集っていたので、いつ仕事を休めるのか、笠原さんとしては迷惑なことであつたと思

う。会では、大きな事業の一つに、一般市民への登山の啓蒙として、二回市民登山を長年行なっていた。ここでも笠原さんは、事前の偵察山行に率先して参加し、準備全部数えたらたくさんある筈だが、

本番とそのリーダーを発揮した。参加者に対しても、よく山行の説明をし喜ばれ、笠原さんのまわには、それらの人々の輪ができていた。多くの方々が、笠原さんにアルコルを持参し、会員を驚かせていたものだった。その時の出来栄。

病院で最後にお会いした時「今若い入会希望者がいるので退院すればすぐに連れていく。」と話していたのに、あまりにも早い黄泉の旅立だった。「おめでとう」がもう聞かれないかと思うと、本心より御冥福をお祈り申し上げる。県、内外の協力も得て無事に大任を果たした。

笠原さんを偲ぶ

前橋山岳会

小泉 俊夫

笠原さんとの最初の出会いは、三十年前、政淳寺という当時の例く日夜張り、本年度よりは自然保護部長になり、まさにこれからという時期であった。

笠原さんがやってきた事は、全途端、あつさりこの世から身を引いてしまった。

頼りがいのある人柄は、全国に数多くの親しい友が居て、どこへ出掛けていっても温かく迎えてく

れ、同行する私共は、何時でも安

心して旅をすることが出来た。「あかぎ国体十周年記念祝賀会」

たのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

病院で最後にお会いした時「今若い入会希望者がいるので退院すればすぐに連れていく。」と話していたのに、あまりにも早い黄泉の旅立だった。「おめでとう」がもう聞かれないかと思うと、本心より御冥福をお祈り申し上げる。県、内外の協力も得て無事に大任を果たした。

笠原さんを追悼
境町山の会
川辺 柳一

おだやかな人柄そのものは、前年が経過し、当時の競技役員から十年を記念した記念行事の実施を考へてはとの希望が多数あり、去

る平成七年四月十五日午後六時より当時国体山岳競技会の役員宿舎となっていた片品村鎌田の「梅田屋旅館」に於いて、元あかぎ国体山岳競技役員、監督、選手、その他現山岳連盟役員、参事、地元関係各位の七十数名の参加を得て、

今年、秋田の「森吉山」登山として盛大に開かれました。当日は日山協関係者、県外の当

時競技役員を中心となられた方々

にも昔話に花が咲き、久しぶりの再会に楽しい夜となりました。

なぜそんなに急いで行ってしまったのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

あかぎ国体十周年 記念祝賀会 開催される

群馬県が国体開催となり、

「あかぎ国体」として盛大に開催されました。山岳競技は利根郡品村、川場村、水上町を会場地として、地元と群馬県山岳連盟が中心となり、岳連としても大イベントの行事を行いました。県、内外の協力も得て無事に大任を果たした。

あかぎ国体開催からすでに十一年が経過し、当時の競技役員から十年を記念した記念行事の実施を考へてはとの希望が多数あり、去

る平成七年四月十五日午後六時より当時国体山岳競技会の役員宿舎となっていた片品村鎌田の「梅田屋旅館」に於いて、元あかぎ国体山岳競技役員、監督、選手、その他現山岳連盟役員、参事、地元関係各位の七十数名の参加を得て、

今年、秋田の「森吉山」登山として盛大に開かれました。当日は日山協関係者、県外の当

時競技役員を中心となられた方々

にも昔話に花が咲き、久しぶりの再会に楽しい夜となりました。

なぜそんなに急いで行ってしまったのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

平成7年5月20日

笠原伊勢雄さんとは、永い付き合いであった。私が昭和四十年頃岳連に顔を出した時期に前橋山岳会の笠原さんを知ることになった。

自然保護の仕事はじみであるが、尾瀬、谷川岳でのゴミ持ち帰り運動や、自然保護の普及啓発に努めてきた。特にあかぎ国体の開

今年、秋田の「森吉山」登山として盛大に開かれました。当日は日山協関係者、県外の当時競技役員を中心となられた方々にも昔話に花が咲き、久しぶりの再会に楽しい夜となりました。

なぜそんなに急いで行ってしまったのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

なぜそんなに急いで行ってしまったのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

なぜそんなに急いで行ってしまったのか、残念です。情けないです。頑丈な体を持ちながら、家庭療法を信じ、病氣とは縁も無かった貴方が、こんなに呆気なくこの世を去ろうとは、未だに信じることが出来な

いした。各部事業のコマーシャル

にもなると思う。

。自然保護部―中島
笠原さんの代わりに中島が部長

を受けることになりました。

○事業部―須田

印刷所への支払いが遅れている。

○ 総務部—女屋

笹川スポーツ財団から山田杯に

五〇万円。鶴田さんスポーツ振興

事業団課長に、木下さん観光課長

に就任。あかぎ国体祝賀会に七十

二名參加。五月二十六日、三十日

平成七年度日山協雪上技術講習会

開催。日山協「春山と雪崩」シン

ボジウム開催。

平成七・八年度群馬県スポーツ

指導者協議会理事の選出について、

岳連より三名。県体育協会評議員

は今年も富山副会長。

七月九日 C級スポーツ指導者講

習会

七月二十三日 B級スポーツ指導

者講習会

議事内容

。クライミング委員会について

沼田山岳会の加藤さんにクライ

ミング委員会の部長を御願いした

い、斉藤さんが副部長。

水上町に出来る水の博物館につ

21

六月にクライミングホールドの作

成をして、いたもの、力完成する。水

上田の駐車場の附近に設立される

有限会社 山とスキーの店 石井

***Dream*BOX**

伊勢崎市宮子町78街区1819-1
TEL.0270-21-8025 FAX.0270-21-8026